

度数分布表

幅が 6 の区間に分けたとき

等級	階級	階級値 (g)	度数 (個)	階級値×度数
MS	52 g 以上～58 g 未満		3	
M	58 g 以上～64 g 未満		11	
L	64 g 以上～70 g 未満		9	
LL	70 g 以上～76 g 未満		2	
合計			25	

度数分布表

各区間のことを**階級**といいます

等級	階級	階級値 (g)	度数 (個)	階級値×度数
MS	52 g 以上～58 g 未満		3	
M	58 g 以上～64 g 未満		11	
L	64 g 以上～70 g 未満		9	
LL	70 g 以上～76 g 未満		2	
合計			25	

度数分布表

52, 53, 54, **55**, 56, 57, 58 のド真ん中 **55** を

等級	階級	階級値 (g)	度数 (個)	階級値×度数
MS	52 g 以上～58 g 未満		3	
M	58 g 以上～64 g 未満		11	
L	64 g 以上～70 g 未満		9	
LL	70 g 以上～76 g 未満		2	
合計			25	

度数分布表

階級値といいます

等級	階級	階級値 (g)	度数 (個)	階級値×度数
MS	52 g 以上～58 g 未満	55	3	
M	58 g 以上～64 g 未満		11	
L	64 g 以上～70 g 未満		9	
LL	70 g 以上～76 g 未満		2	
合計			25	

度数分布表

他の階級値も記入して

等級	階級	階級値 (g)	度数 (個)	階級値×度数
MS	52 g 以上～58 g 未満	55	3	
M	58 g 以上～64 g 未満	61	11	
L	64 g 以上～70 g 未満	67	9	
LL	70 g 以上～76 g 未満	73	2	
合計			25	

度数分布表

階級値×度数を計算して

等級	階級	階級値 (g)	度数 (個)	階級値×度数
MS	52 g 以上～58 g 未満	55	3	165
M	58 g 以上～64 g 未満	61	11	671
L	64 g 以上～70 g 未満	67	9	603
LL	70 g 以上～76 g 未満	73	2	146
合計			25	

度数分布表

合計を出します

等級	階級	階級値 (g)	度数 (個)	階級値×度数
MS	52 g 以上～58 g 未満	55	3	165
M	58 g 以上～64 g 未満	61	11	671
L	64 g 以上～70 g 未満	67	9	603
LL	70 g 以上～76 g 未満	73	2	146
合計			25	1585

度数分布表

$$\begin{aligned} \text{平均値は} \quad \text{合計} \div \text{個数} &= 1585 \div 25 \\ &= 63.4 \text{ (g)} \end{aligned}$$

と求められます。

今だとデータが 10 万件あってもパソコンを使って簡単に平均値が出せますが、昔はそれが難しかったので階級値を使って、およその平均値を出していました。

度数分布表

また度数分布表をつくと、どの階級が多いか/少ないのか一目で分かるようになり、データ分析がしやすくなります。